

## 海外安全対策情報（令和元年4～6月期）

### 1 治安情勢・一般犯罪の傾向

#### (1) NSW州

治安情勢は安定し、NSW州全体の犯罪発生率は昨年と比較して、多くの罪種において同等又は減少している。一方で、賭博（+86.5%）について大幅な増加がみられるほか、麻薬密売をはじめとした薬物犯罪の検挙が増加傾向にある。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

##### ○シドニー地域

Baulkham Hills and Hawkesbury：暴行・傷害（DV関連）（+10.7%）、強制わいせつ（+14.7%）、窃盗（店舗対象）（+16.2%）

Central Coast：窃盗（店舗対象）（+18.7%）

City and Inner South：窃盗（車上ねらい）（+13.2%）

North Sydney and Hornsby：窃盗（店舗対象）（+23.0%）

Northern Beaches：暴行・傷害（DV関連）（+24.5%）、窃盗（店舗対象）（+30.9%）、器物損壊（+24.6%）

Outer South West：強制わいせつ（+21.3%）、窃盗（車上ねらい）（+19.3%）、詐欺（+10.7%）

Outer West and Blue Mountains：窃盗（ひったくり、すり等人を対象）（+29.2%）

Ryde：暴行・傷害（DV関連）（+33.3%）

Sutherland：強制わいせつ（+35.1%）

○ Central West：窃盗（店舗対象）（+19.1%）

○ Coffs Harbour - Grafton：窃盗（店舗対象）（+63.6%）

○ Far West and Orana：暴行・傷害（DV関連）（+28.7%）、窃盗（店舗対象）（+17.9%）

○ Hunter Valley excluding Newcastle：窃盗（乗物盗）（+15.1%）、窃盗（店舗対象）（+26.6%）

○ Illawarra：詐欺（+18.3%）

○ Murray：建造物侵入（+33.8%）、窃盗（住居対象）（+15.9%）、詐欺（+21.7%）

○ New England and North West：強姦（+20.5%）

○ Richmond - Tweed：暴行・傷害（DV関連）（+22.7%）

○ Riverina：詐欺（+24.1%）

#### (2) 北部準州

治安情勢は安定しており、暴行・脅迫、性犯罪等人を対象とした犯罪は前年比-14.6%、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪は-1.7%となっている。

特に住居や店舗に対する侵入・窃盗事案が増加している。

### 2 邦人被害

シドニー市内において、慰安婦問題を捉えたものやイルカ漁に反対する抗議活動が行われており、このようなデモを認知すれば、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

現在のところシドニーにおいて大規模なテロの発生はないが、オーストラリア国内におけるテロの脅威度は依然 5 段階中上から 3 番目の「Probable」であり、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

#### **4 誘拐・脅迫事件発生状況**

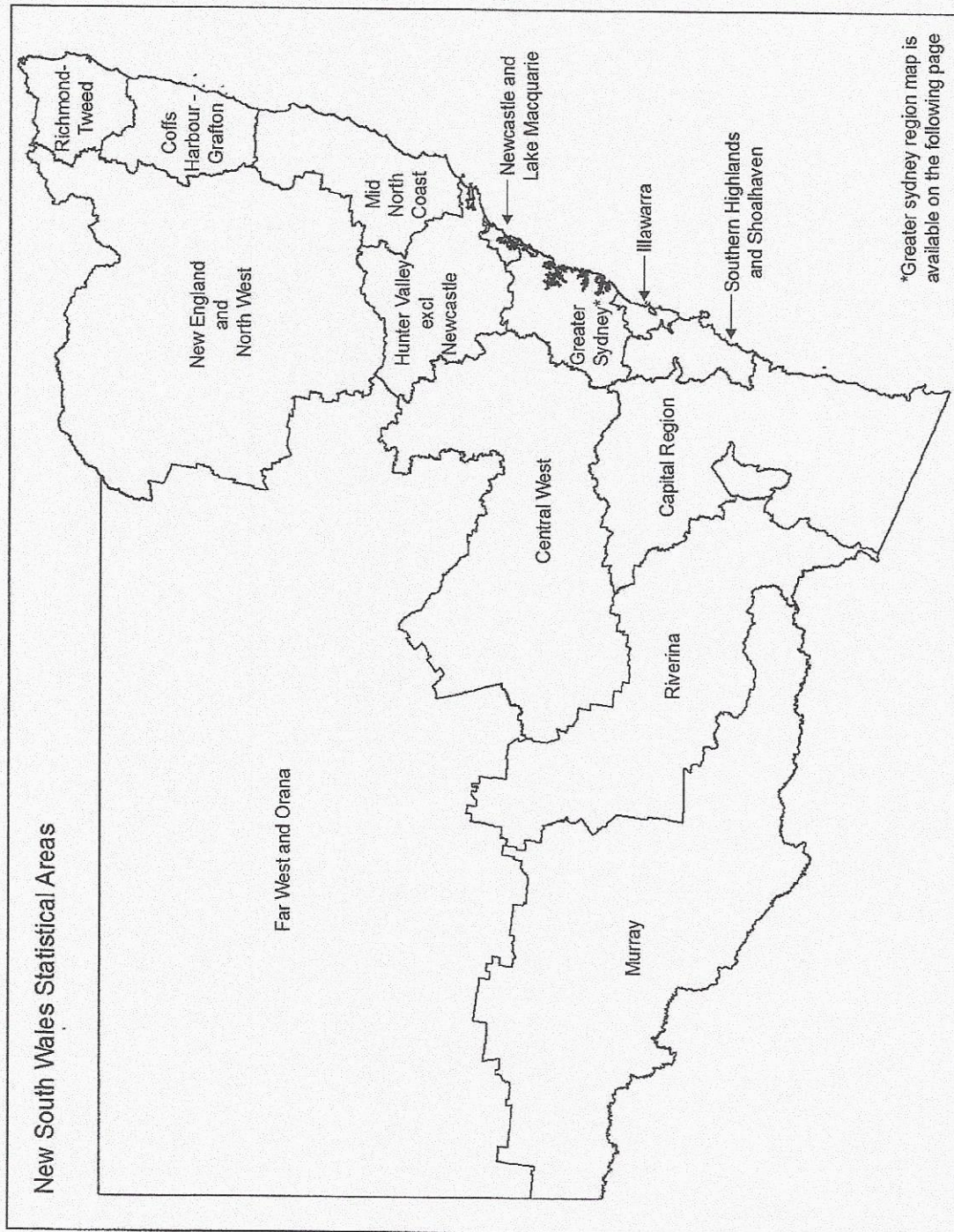
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

#### **5 日本企業の安全に関わる諸問題**

韓国系の慰安婦像設置推進団体や捕鯨・イルカ漁反対団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2018年7月から2019年6月までの1年間と前年同期との増減率）。

#### APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS



#### APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS

